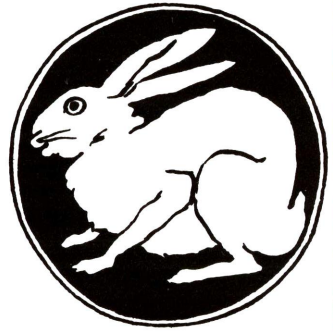


婦人子ども



大正四年八月五日

第十五卷  
第八號



フ  
レ  
ー  
ベ  
ル  
會

第十五卷第八號目次

兒童遊園問題

乙竹 岩造

教育と兒童の身體障礙

上野 陽一

露天主義の我幼稚園

西山 悠治

幼兒の睡眠時間と體重

司馬 のぶ

夏季の水遊び

小山 ひで

『菊ちゃんの新遊戯』

岡田 みつ

雜 錄

フレーベル追懷錄

本誌定價

一册郵稅共金拾壹錢 六册前金郵稅共六拾錢  
拾二册同金壹圓貳拾錢 郵券代用一割増

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

本會宛御用務

本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます

(庶務上保姆紹介に關する件をも含む)の御手紙は  
東京市小石川區久堅町七十四番地フレーベル會事務所宛  
會計事務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、  
雨森劍宛  
本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下代々  
木山谷一二四倉橋惣三宛

大正四年八月一日印刷  
大正四年八月五日發行

編輯兼發行者 東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四  
倉橋惣三

印刷者 東京市本所區番場町四番地 登  
平井

印刷所 東京市本所區番場町四番地  
凸版印刷株式會社本所分工場

發行所 東京市小石川區久堅町七十四番地  
フレーベル會

## 兒童遊園問題

東京女子高等師範學校教授 乙 竹 岩 造

田園村落の子供は、學校から歸つて後も或は田畑のあたりに或は野原の邊に、到る處に廣い自然の遊び場を見出すのであるが、都會の兒童はさういふ場所が殆ど得られない。そこで近來兒童遊園といふ問題がだん／＼と講せられて來た。

兒童遊園は始めは獨逸の都會地に起つたものであるが、その後だん／＼と多くの文明國に及ぼされて、今日ではいづれの都會地に於ても之を見るやうになつた。その始めて起つた所の獨逸の有様について見ると、たとへばベルリンなどではいづれの公園も其一部分を割いて兒童遊園にして居るので、そこには少しも危くないやうに出來て居て砂山などを作つたり、子供の身丈けに合ふやうなベンチをおいたり、或は簡単な運動道具を備へ

けたりして居る處もあつて、子供が少しも車馬その他の危険もなければまた雑沓喧噪のわづらひもなく、不良醜惡の刺戟誘惑もなく、極自由にかつ愉快に空氣のよい處で遊べるやうに出來て居るのである。之はひとり公園のみではない、一般公衆の集る處でしかも大なる庭園の備はつて居る處などでは、かういふ設けの出來て居るものが少くない。たとへば動物園の如き處にはやはり兒童遊園が設けられて居る。

これに倣つて起つたものが米國に於ける兒童遊園の運動であつて、此運動は最近に於てはなかなか盛になつて居る。此の運動の始めは私設の組合などの盡力によつて起つたのであるが、後には都市の公共事業としてだん／＼盛になるに至つた。

たしか千八百八十六年にボストンで、或慈善團體がベルリンの例に倣つて二つの兒童遊園を此町に設けたのが、米國に於けるそも／＼の初めであるが、其後次第に多くの都會に起つて來て、千九百〇六年には全國にわたれる大なる組合が出來て、二十二州が之に加はり、都會地に兒童遊園を設けるといふ運動が全米國に擴まつて來て、特に此の運動の機關としてプレーグラウンドと題する雜誌さへ出來るやうな有様である。爾後非常な勢を以て發達して來た、その有様を一言して見ると、此の大會のあつた翌年即ち千九百七年には六十六個の都市が之を設け、その次の千九百〇八年には百八十五個の都市に於て、更にその翌千九百〇九年には三百三十九の都市に於て、それから五年を経たる千九百十三年に至つては六百四十二の都市に於て、いづれも皆之を設けるやうになり、總計三千有餘の兒童遊園が出來て居るやうな有様である、尤もその名稱は、都會によつて多少異つて居

るやうである、ある處ではシビック、セクターと稱して居るし、他の處ではレクリエーション、セクターなど、呼んで居るし、或は單にプレーグラウンドと云ふて居る處もある。

かういふ兒童遊園の内容に至りては、幼兒を主として設けられたるものと、稍長じた兒童の爲めに設けられたるものと、青少年の爲めに設けられたるものによつて多少異つて居るので、青少年の自由運動場として設けられたもの、中には運動の方を教へる教師などの居る處もあり、またいろいろの運動機械の備へつけられて居る處もあり、或は大人の遊戲慰安等の爲めに、音楽の演奏などの催されるやうなものもあり、運動俱樂部の布設せられて居るものもあり、入場料を取つて居るやうなものもあるが、兒童遊園にはさういふ込み入つた事はしない、たい極自由にかつ楽しく子供が遊べるやうに出來て居るのである。

我が國に於ても都會地にはどうしてもかういふ

場所が必要であらうと思ふ。都會地に於ては田舎と異り人家は稠密であり、車馬は往反する、子供が自由に遊べる場所としては殆んどないから何等かの設備を講ずる事はどうしても必要であらうと思ふ。さうでないに車馬雑沓の街上にうる／＼して居て、ろくな遊びも出来ず、かつなか／＼危険の多い事である。そののみならず石を放つたり、落書きをしたりいろ／＼のいたづらをする事にもなり、或は四つ角や店さきにぶら／＼して居つて、衛生上にも道徳上にもあまりよろしくない影響を受ける事は避くべからざる所であらう。それならば淺草などのやうな物見遊覧の場所はどうかといふと、之れはまた子供に誠によくない影響を與へる事が多いやうである。此點については、いつか倉橋文學士がたしか本誌上で述べられて居る通りで、子供をさういふ場所に始終やるといふ事は随分危険な事である。そこでどうしても兒童遊園の如きものが都會地に於ては特に必要になつて來る

のである。急に發達した都會などに於ては殊にさうである。ガンスベルグといふ人が俄に發達した工業地などに於ては、もと子供の遊び場であつた所がだん／＼と取り上げられる、四五年前までは彼等がつばなをつんだり——蝶々を捕つたりした所が、今は工場になつたり倉庫が建てられたりして居る、どこへ行つても車馬雑沓で危い處か、さうでなければ無用のもの入るべからずと揭示されて居る處ばかりで、遊び場を見出さうとする子供には殆ど八方塞がりであると云ふ事を云ふて居るが如何にもさうである。かういふわけであるから兒童遊園は都會地に於てはどうしても缺くべからざるものであらうと思ふ。

尤も學校の運動場等を開放して子供の遊び場に供するといふ事なども至極よい事である。之れは近頃米獨諸國でだん／＼と行はれて居る事で、たとへばニューヨーク市では千九百十二年以來學校の授業時間以外に於て、その運動場や雨天體操場

や乃至は幼稚園の庭園などを開放して、子供の自由遊戯場にして居るものが二百二十二個所の多きに達して居る。即ち云はゞ此市が二百二十二個の兒童遊園を新に得たやうなものであるが之等も誠に結構な中である。我國でもたしか二葉幼稚園などは近所の子供の遊び場所に開放して居られると聞いて居る。その外富豪の庭園などで之を開放し

## 教育と兒童の身體障碍

文學士 上野 陽 一

十二度の近眼といふと、よほどひどい近眼である。市街などは到底眼鏡なしで歩くことは出来ない。机の上の仕事でも、よほど眼を近づけなければならぬから、無理に眼鏡なしでやると、早く疲れるのみでなく、頭が痛み出す、氣が鬱陶しくなるなど、様々の障害をひき起す。然るにこゝに一つ恐ろしい話がある。先達の事、或人の子供が

て、子供や大人の散樂や遊戯を許して居る處もだん／＼あるやうであるが之れ等も誠に嬉しい事と思ふ、ともかく兒童遊園の問題は田舎にはさう必要もなからうが、都會地に於ては至極必要な事であると思ふ。我が國に於ても追々さういふ場所が設けられるやうになりたいものであると望んで居る次第である。(文責在記者)

十二度の近眼であるのを、尋常の四五年になるまで、親も先生も、學校醫も、かゝりつけの醫者も知らずに居て、そのために生ずるさまざまの障害を、やれ精神病であらうとか、低能であらうとかいつて、催眠術をかけたたり、何とかいふ見當はづれの藥をのませたりして、散々弄くつた揚句の果、やうやくそれが近眼であることが分つて、眼

鏡をかけさせたらば、すべての症状がけりりと直つて、成績もよくなつたといふ、ウソのやうな本當の話がその親なる人によつて社會に傳へられた。

も一つ私の直接に知つて居る例がある。父は醫學雜誌の記者をして居る人で、醫者ではないが相當に醫學上の知識をもつて居る人で、あつた。然るにこの人もその一人息子が中學の三年生になるまで、近眼であることを知らずに居たのを、フトしたことからそれが分かつて調べて見たら、九度といふ強度の近眼であることが分かつた。

教育上の素養の足りぬ醫者が年に二度づ、御役目だけの身體検査をして居たいけでは、これほど強度の近眼を知らずに過ごすことも、事實ありさうなことではあるが、日々子供に接して居る親なり教師なりがそれに氣づかずに居て、何も知らぬ子供を悲境に沈淪させるといふに至つては、子供の前に手をついて詫まつても、追つかぬ話ではあ

るまいか。

今一つよく耳にする話は、子供が幼稚園や、學校から、よく病氣を貰つて來るといふことである。ヂフテリー・猖紅熱・麻疹・百日咳・水痘・天然痘・結核の如き傳染病が學校や、幼稚園を媒介所として社會に傳播して行くことが少くない。これに對する處置法としては、學校の醫學的視察の制を設けて早く傳染病を發見して未然にその傳播を防ぐ必要がある。これが謂はゆる學校の醫學的視察運動と稱するものである。

然るに近眼事件などに屬する事實の處置法になると、純醫學的の仕事ではなくなつて、その仕事に醫學と心理學との兩方に跨つて來る。蓋し身體上の諸種の缺陷は直ちに子供の精神發達上に影響を及して來て、外面に於ては、「身體上の缺陷に基づく心理上の異常」といふ形をとつて現れて來るからである。

一般の精神發達に影響を與へて、子供の成績を左右するやうな身體上の缺陷にはいろいろある。

例として擧げた視覺の缺陷もその一つであるが、その外、聽覺の缺陷・鼻呼吸の缺陷・腺病・扁桃腺膨大・心臟病・口腔炎異常・榮養不良・畸形・脊椎彎曲・猫脊・神經疲憊・呼吸器病などに對しては、どうしても相當の検査を加へなければ、子供の正常なる發達を助長して行くことは出来ないのである。勿論これ等の缺陷の各々について、十分の説明を加へて行くことは、醫學者の説明をまたなければならぬが、これ等の缺陷が原因となつて、如何に子供の發達を妨げ、子供の幸福安寧を害しつゝあるかは親たり先生たるものが大體心得ておかなければならぬことだと思ふ。子供の精神發達上に、何かの障害が起つたときに、その原因について大體の見當だけをつけて、醫者に相談をもちかけることの出来るだけには、素養がありたいものと思ふ

のである。一體専門の醫者なるものは、案外眼界が狭いために、何でも自分の専門とする病氣の方に引きつけて考へる危険があるから、大體は平生一緒に生活して居る親なり先生なりが見當をつけておいて、それから醫者のところに行くのが本當であると思ふ、でないといふと、眼鏡さへかけさせればすむ子供に對して、御苦勞にも催眠術をかけた可憐さうに精神病の薬をのましたりして、罪のない可憐の子供を、無智と見當違ひとの犠牲にしなければならぬやうなことを仕でかすのである。

## 三

私は曾てSといふ中學一年生の子供について相談を受けたことがあつた。父なる人が來ていふには、「Sはどうも學科が出來ないで、馬鹿で困る、何とか方法は無いものでせうか」私にはたいそれだけではさつぱり見當がつかないから、いろいろ相談の末にその子供を預ることにした。父の方は、私に復習でもして貰へば、だん／＼成績がよ



くなるだらうといふ考へらしかつた。勿論復習もさせて見たが、成績は不相變劣等で、二度ほど落第して、とうとう中學は途中でやめてしまつた。

そんな風であるから、父は少しもその子供を愛しないで、學校の出來のいゝ少妹の方ばかりを可愛がるといふ風であつた。それだから、Sは益々やけを起して學事を放擲するといふ風になつて行つた。父はたゞ子供が馬鹿で怠け者であるとはかり思ひ込んで居たやうであつた。

私はいろ／＼Sについて研究して見たが、或夜眠つて居る様を見ると、口を開いて居て、鼻呼吸をして居ない。そこで翌日その事をSに話すと、自分は幼少の時からかうだといふので、早速醫者にやると、茸鼻といふ診断で、手術を施した。その當座はよかつたけれども、又切斷した部分が肥大して來て、鼻呼吸が出來なくなつてしまつた。病氣の性質上根治が出來ないから、治療によつて成績をよくすることは出來なかつたが、とにかく

「馬鹿で怠ける」のは鼻が悪いためであるといふことは分かつた。して見ると、これは父なる人のやうに、徒らに「馬鹿々々」といつてその愛までも娘の方にうつすべきものではなく、病氣に對しては同情の態度をとること、恰も不具の子が一層可愛いといふのと、同じ心持でなければならぬと思ふのである。

Sはもう大人になつて居るが、不相變睡眠後は鼻呼吸が出來ないで、口を開けて居る。隨つて安眠が出來ない、今になつて、人の話に「前後も知らずに熟睡する」などいふことを聞くが、自分は未だ曾てさういふ熟睡をしたことがない。眠つてから、覺めるまで、ウト／＼と夢ばかり見て居るといふことである。丁度生れつき近眼の子供が世界はかういふ風にボンヤリと見えるものだと思つて、別に不思議とは思はなかつたのと同じく、少の頃から安眠といふことを知らなかつたから、別に異常といふことに氣づかなかつたのである

が、大きくなつて、人の話などを聞いて、思ひ合はせて見ると、成るほど自分は鼻の病氣のために呼吸に故障があり、随つて人のやうに安眠が出来ないのだといふことが分かり、更に進んでは、Sの常習頭痛の原因も分かつて来たのである。

かういふ風な調子であるから、眞面目な仕事を一定時間つゞけてするといふことは、Sの大に苦痛とする所である。苦痛といふよりは寧ろ不能といつた方がよいかも知れぬ。併し外見に於ては少しも病氣らしいところはないのであるから、家人殊に父なる人は、Sが仕事をつゞけてしないのを見て、一概に怠けものだ、ヤクザものだといつて益々疎んずるやうになる。かくの如くしてSの家庭は今に悲惨なる、暗い影がたゞよつて居る。

#### 四

一つ二つの實例を擧げて、そんなのは稀有の例であらうといふ人があるかも知れぬ。そんなら統計の數字を見るがよい。併し日本の學校醫の身

體検査は十二度の近眼を數年間も見のがして居るやうな寛大なるものであるから當てにはならぬ。殊に缺陷検査の項目が、視聽とむし齒と脊柱彎曲とに限られて居る。外のもつと大切な項目を逸して居る。さういふ統計では議論の基礎とすることは出来ぬ。手近かにあるアメリカの統計を借りるより外はない。

ロスアンゼルスLos Angelesの學校兒童五千人について調べた結果、視力に障害あるもの六十一%、腺病者が三十一%、扁桃腺膨大が二十五%、聽力障害が十二%、あつた。一九〇九年にシカゴの兒童十二萬三千五百人について、重大な缺陷だけについて調べて見たら、齒牙の障害三十六%、扁桃腺膨大二十二%、腺肥大十三%、鼻の障害五、五%、腺病が三、五%、聽力の障害が二、三%といふ數字を示して居る。ニューヨーク市の兒童二萬三千につき、各學年に互つて調査した結果によると、六歳の時と十五歳の時とによつて、障害の分配状態が

左の如く變つて居る。

	六歳の時	十五歳の時
齒牙の障害	六五	三一 %
扁桃腺膨大	四〇	一四 %
腺 肥 大	四〇	七 %
腺 病	二三	三 %
呼吸障害	二三	九 %
視力障害	一七	二六 %

その他このやうな統計を擧げると、數限りもな  
いが、それ等を綜合して考へて見ると、全兒童の  
七割乃至八割はどこかに物質上の缺陷のあるもの  
であると推測することが出来る。醫學的視察運動

の盛なるアメリカに於てさへ、こんな風であるか  
ら、日本の實情はこれよりも更に甚だしいものが  
あるに相違ない。

私は以上のやうな話の結論として、父兄や保母  
教師の職にある人は、子供の身體的障害の思ひの  
外、多いもので、それが精神の發達と密接の關係  
のあることに氣づいて、子供の訓育や教授を常に  
それらの身體的事情と結びつけて考へて行くやう  
にありたいと思ふのである。それには、子供の身  
體についても少し醫學的知識に興味を持つ人であ  
ることが望ましいと思ふ。

## 露天主義の我が幼稚園

### 附人形病院の話

帝國幼稚園長 西山 愷 治

私の幼稚園の内規の中には「主として體育、徳  
育を奨励し自然的屋外的保有に努力すべし」とい

を項目が掲げてあつて、保母にはその心掛を以て  
保育の任に當つて貰つて居る。一口にいへば露天

主義とでも稱さるべき考で兒童を遊ばせて居るのである。

私の考では幼稚園キンダーガールデンは本來の性質上兒童の遊園であるべき筈であると思ふ。然るに近頃はその本來の意義が不鮮明となり小さい遊藝でも仕込む場所のやうに誤解されて來た傾きがありはしまいか。私はこの點に於て在來の幼稚園に慄おそらないのである。而して自らみづか在來のとは異つた型タイプの幼稚園、最も多く兒童性に適應した幼稚園を作るべく決心するに至つたのである。

兒童成長の要素としては食物、睡眠、遊戲、空氣、光線の五つが數へられる。その中食物、睡眠の二つは主として家庭の關係事である。尤も幼稚園としてはそれらに關してでも氣附きの事項を何くれとなく家庭に勸告すべきではあるが、上の二つに對して主なる顧慮をなすのは當然家庭の務めでなければならぬ。若し夫れ兒童を元氣よく遊ばせ且つ兒童をして空氣と光線とを充分に攝取

せしむることに至つては幼稚園の任務であらねばならぬ。勿論幼稚園は衛生に留意し清潔を重んじ傳染病を豫防するといふ如き消極的の仕事をも行ふが、それ以外更に積極的に兒童の活動性を誘發せしめ、何物の拘束をも受けしめずに兒童をしてのびのびと遊ばせる工夫を講じなければならぬ。

兒童は遊んで居る内にも刻々に發育成長しつゝあるものである。それ故に發育の理想的條件に於て遊ぶことの出來る兒童は幸福である。而して遊ばせるためには何處を選ぶべきかといふことが考察を要すべき問題となるのであるが、畢竟屋内保育と戶外保育とを比較研究してみたならば、その結果は自然この問題を定むることとなるであらう。

建築の設計に於て如何に完全に衛生的條件に適つた校舎と雖、空氣の流通、光線の普及といふ點に至ては到底戶外とは比較にならないのである。

況んや限られたる室内に於ては多數の兒童の呼吸によつて空氣は汚濁となり、塵埃は浮動し白墨塗

板は塵埃を製造するのである。文部省指定の建築條例には建物の三分の一以上の採光窓を有せざるべからずといふことになつて居る、併しこの條例に適つた建物と雖も遮るものなき戸外の光線に若かないことは無論である。

近代の文明生活は吾人をして屋内の生活を餘儀なくせしめる場合が多いのであるから、之に對しても戸外生活は必要であると力説する識者が尠くない。西洋では事實この戸外生活を行つて居る者が多く、幼稚園等でもこの戸外生活に多大の注意を拂つて居るのである。然るに日本に於ては如何といふに我國に於て普通立派な幼稚園と稱せらるるものを見るに、その多くは立派な建物を有する幼稚園を指して言つて居るやうである。關西地方に於ては保育事業が殊に發達し幼稚園の建物に何萬圓といふ金をかけ、二三百人の兒童を收容して居る所なほあるが、斯るは幼稚園本來の性質を失つて學校になりかけて居るといふべきである。

世の父兄達がその兒童を幼稚園へ託すといふのは、兒童に友達がないとか、或は有つても悪い友達であるとか、母親が兒童の遊び相手をして居られないとかいふ理由からであるが、尙この他に自分の家には廣々した庭がないからといふやうなことも理由とせられて居る場合が尠くないと信ずるのである。

然るに建物ばかり立派で運動場の狭い幼稚園は本當に幼稚園の使命に兒童を託さうとする親達を失望させるわけである。都會の幼稚園を見ると百人の兒童を收容して建物に百坪以上の土地を取つてゐながら、運動場が七八十坪しかない所がある。これでは園兒一人には付一坪宛といふ文部省の規定にも外れて居るわけである。しかし今日では一人一坪宛などといふことは市内では贅澤な要求であつて、實際に於ては二人一坪、三人一坪位の割合となつて居るのである。これでは兒童を愉快にのびのびと遊ばせることの出来ないのは當然あたりまへ

である。私は斯る幼稚園を見ると小さな金魚鉢に放たれた多数の金魚が、あちこちと支えまわりながら窮窟さうに泳いで居るみぢめな様を思ひ出して、見るに堪えないのである。這麼金魚鉢式の幼稚園では兒童をして愉快な一日を送らせることは到底出来ないのである。一體深く考へもせず無暗と設備に金をかけたがるのは愚の甚しきものである。兒童は金のかゝつた設備のために必ずしも常に愉快なり得るものとは限らないのである。兒童が飽きずに何時までも喜んで遊ぶのは鞆鞆位なものである。固定圓木の下には草が生えるのもう飽きてしまふので圓木の下には草が生えるのである。兒童は靜止的な玩具よりも自分と共に動くものを好むのであるから、靜止的な金のかゝつた諸種の設備玩具は親達を安心させ參觀人を驚嗜せしむる外には太した効能のないものである。若しそんな金があるならば運動場を取擴げてやる方が兒童のためには遙かに幸福なことであらう。幼稚

園の成績を知るには兒童の數と運動場の面積とを比較して一人の兒童が幾何の土地を占め得て居るかといふことを見るのも一法たるを失はぬのである。

市内では兒童の活動する範圍が漸々に狭められて來た。中流以下の家庭では兒童の自由に遊び得るやうな廣い庭を持つことは困難である。都會の兒童は遊び場所に窮してよく途上で遊ぶのであるが、さうすると直ぐ警察から矢筈しく言はれる。而已ならず電車や自動車の間斷なしに往來するので、落付いてのびやかな心持で遊ぶなどといふことは到底出来ない。兒童は危険な瞬間を偷み偷み遊ぶのであるから危険此上なしである。それであるから、せめて幼稚園に行つてゐる間だけでも思ふ存分自由に遊べるやうにしてやらなければならぬのである。然るに一般の幼稚園はこの目的のためによく準備せられて居るものとはいへないのである。これは兒童にとつて誠に悲しむべきことで

ある。

それから私は兒童を育てるためには家庭は兒童中心であらねばならぬと思ふ。然るに世には随分親達の便宜のために兒童のために當然なざるべきことを怠つて居る家庭が尠くない。是等も考へ直さなければならぬことであると思ふ。

衣食住の三つに就て見ても兒童のためにといふことが一向計畫されてゐないことが分る。食物の如きも親達の嗜好のみを考へて兒童の消化機に就て考慮を廻らすもの、尠いのは慨しいことである。小兒科に胃腸病患者の多いのは親達が兒童の食物に氣を附けないといふ何よりの證據である。兒童の消化力や嗜好や食物の含む營養分の割合等をばもつと詳しく研究して見るに必要がある。

次に衣服に就て言へば兒童には先づ仕事を着せてやるつもりで、華美なるものを避けるやうな方針にしたいと思ふ。遊戯は兒童に取つては大な

る仕事である。兒童の場合に於て遊戯は直ちに仕事と解釋さるべきである。それ故に兒童には仕事を着せてやり兒童がその着衣を汚したからとて決して叱つてはならぬ。何故ならば衣物の汚れて居るのは、彼等が如何によく遊んだか、即ち如何によく仕事をしたかといふことを語つて居るのだからである。兒童のためには汚してならない衣物が一枚あるよりも、汚していゝ衣物が二枚三枚ある方が餘程爲めになるのである。故に幼稚園へは決して綺麗な衣物を着て來るには及ばないのである。然るに世の母親達の中には兒童を幼稚園へ出すには衣物もチャンとしたものを揃へなければならぬからなぞと言つて、兒童を幼稚園へ送り得ない理由の一とされる向きもあるが、是等は考違ひの甚しいものである。住居に就て見ても一番最初に述べた通り兒童の活動性を満足さすべき廣い庭や保育室其他の設備を完全に備へた家庭は滅多にない。故に我國の家庭なぞではもう少し兒童を本

位にして、衣食住を考へて見る必要があるのである。

我國では幼稚園でも小學校でも實際は兒童本位で之を經營して居るのか何うか分らないといふやうなのが随分あるのである。小學校などでも教員が汗水垂して三十分なり四十分なりの説明をして居るのに生徒は先生とは沈交渉に傍見わらみをして居ることなどは多い。教員が生徒の前に並ばせて置いて教授法の一人稽古をして居るやうなものである。

これでは兒童に力が附かない筈である。兒童にはもつと自習自學をさせて自みづから骨を折らなければならぬ。保育とてもその通りであまりに世話を焼きますと兒童は自棄やき氣味になつて來るものである。あゝしてもわるい斯うしてもいけないとなる。兒童は何もせずポカンとして居なくてはならぬこととなる。これは兒童には到底堪え得る所ではないのである。故に干涉好きの保母は良保母と

は言はれないのである。斯る保母は兒童の方で之を敬遠してその居ない所でわるいことをするやうになるものである。話が少し傍路に行つたが、さて言はうとしたところに戻ると一體この頃の教へたり育てたりする人は骨惜みをする傾きがあるやうである。教授に類したこと、運動場で遊ばせること、は保母に取つて孰れが骨が折れるかといへば、これは無論後者の方が骨が折れるのである。兒童を廣い運動場に四散せしめて自由に遊ばせ、間違のないやうに氣を附けるといふことは却々大變なことである。おしつこをしたといふのがあつて泣くがある。二つの目と二つの手ではとても多くの園兒の監督は覺束ない。故に大抵の保母は遣り切れなくなるとすぐ鐘を鳴らさせて保育室内に兒童を導き入れホット一息吐くといふわけである。而しておはなしとかうたとか比較的身體の樂なことをして兒童の時間を過させるものが多



い。その結果知らず識らず詰らぬ智識を授けることとなるのである。この點なども今少しく眞面目に考へられねばならぬと思ふのである。

私の幼稚園では朝兒童が集ると先づ兒童の好きな唱歌を三つか四つ歌はせる。それから午前中は全部遊びである。大體に於て放任主義で間違のないやうに兒童各自が充分にその活動性を發揮するやうにと努めて居る。園内は廣く、草も生えて居るし、清い溝流みなながれもある。兒童はこの園内で走つたり飛び刎ねたり鞦韆へ乗つたり、水いたづらをしたり、草の花を摘んでまゝごとをしたりして勝手次第に遊ぶのである。手足の汚れたのを洗つてお辨當を食べ午後も亦運動場へ出て自由に遊びまわつて居る。何しろ四十人の兒童に四百坪の運動場があつてあるので、一人十坪宛になつてゐるわけとなるのである。それから又私のところでは裸足になるとを奨勵して居るので兒童は皆足が丈夫である。戸外で充分な空氣と光線とを攝取して居るの

で、私の幼稚園の兒童は市内の幼稚園の兒童に較ぶると顔の色艶いろつやなどは生々として血色が大變いいことにしてある。斯くして午後四時までは充分に遊ばせるのである。最も夏季には疲労の度が強いので九時から三時までといふことになつて居る。それから又幼稚園の近くに低い丘があつて、その丘の上に森があるので時々この森へも連れて行くことになつて居る。私の幼稚園ではつまり徹頭徹尾露天主義なのである。手技は一週に一度位しか課さない。都會の幼稚園へ兒童を預けた経験のある母親等は手技の時間のあまりに少いのを心配して聞きに來られる方もあるが、私は何時も「それで大丈夫です」とお答へして居る。空氣と光線の充分なところで兒童を元氣よく遊ばせることが出來れば、幼稚園の任務は盡されて居るといつてもいいのである。これさへ完全に行ふことが出來れば唱歌や手技などは何うでもいいのである。

それから話は別になるが、私は一昨年から人形病院といふものを始めて居る、人形は子供には生命あるものとして取扱はれて居るのである。抱いてやつたり負うてやつたり縁側からおしっこさせてやつたりした人形がこわれたからといって直ぐに塵箱へ棄てられて了ふのは可哀想である。首だけの人形やもぎれた手だけを見るのは大人にとつても心持のよくないものである。斯ういふ無惨な形に兒童が馴されてしまふといふのはよくないことと思ふので眼をいためた人形や内臓をいためた泣かなくなつた人形や足のなくなつた人形や顔頭病にかゝつた人形や顔の艶の剝げかゝつた人形や凡そ人形の病氣はすべて皆手術を施して、元の通りにして退院させるといふことにしたのである。

幸ひ人形を直すことの上手な人を一人見附けたので甚麽バラバラになつた人形でも原價の三分の一以内の入院料で全快させてやる事が出来る。

今日までに私の人形病院に入院した人形はざつと六百人ばかりある。私は人形病院設立の當時新聞や雑誌にこのことを發表したので、地方から小包みにされた人形が續々入院して来る。この人形病院は兒童の優しい感情を害はせまいとする主旨の外に、人形が怪我をしてさぞ痛からうといふ同情心延いて可哀想な人形を入院させてやらうといふ親切心を起させるためにも必要であると思つたのである。それから又二錢か三錢で毛の無くなつた人形や首のとれた人形が元の通りになつてかへつて來るといふことは兒童に全く有難さを具體的に知らしむる最もよい方法であると信じたのである。私の幼稚園では「人形病院の歌」といふものを歌ふのである、御参考までにお目かければ次の如くである、

### 人形病院の歌

(一) かあさま、かあさま、私の

可愛い人形が、きのふから

どうしたとか、手を痛め

いたい痛いと言きます

(二) あら可哀想に可哀想に

それでは人形病院へ

入院させてなほすやう

早くお願いなさいませ

(三) あら嬉しいの、嬉しいの

あんな手なしの人形が

今日は私にだつこして

につこと笑つて居ります

(「私の人形」の譜)

(文責在記者)

### ○保育所の特徴

(生江孝之氏)

一、乳児死亡の減少、現今歐洲では大に乳児の死亡減少に努力し英國の如きは千人中百二十人に減少せり。之が爲に乳母に乳児の取扱方法を教ふる乳母相談所を設けたる所多し。其結果獨逸にては之を設けざる地方は百分中十四の死亡率あるに拘はらず。設けある地方は百分中五・八に止まれりと云ふ。日本に於ても明治廿一年頃より今日の状態を見れば、乳児の死亡約五割を増せり。之

れが應急の救済策を講ずること必要なり。

二、幼児健康の増進。日本に於ける一才乃至五才の乳児死亡の割合は英佛に比し殆んど五倍なり。我徴兵検査の結果は不合格者の多き地方は、乳児の死亡率も亦高きことを示せるより見れば、乳児の死亡は強ち弱きもの、死亡するのみに非らざることを知るべし。保育所の設置の必要之を以ても推することを得。

三、幼児智識の開發。細民の家庭に諸種罪惡の嫩芽たる悪習癖の行はるゝことは否定すべからず。保育所に收容せる兒童は、此悪習に遠かり其智識を開發せらるゝのみにても、充分の效果を得べし。之れ其特徴の一とする所以なり。

四、母子恩愛の持續。他の方法によれば母子の愛情を理會せざる子供を生ず。保育所の小兒は夜間母と共に寢食しく相互の愛情も傷けらるゝことなし。

五、育兒院收容兒童の減少。孤兒院中には孤兒のみならず貧兒の收容も多し保育完全に行はれたらば、一家貧なりとも家族揃ふて生活し得、育兒院收容の兒童數減少すべし。

六、家庭収入の増加。母親の安じて勞働し得る爲め。

七、獨立心の助長。保育所は原則として保育料を徴收す。幾分の義務を盡せりてふ觀念は、獨立心を損せず、却つて之を助長せしめうべし。

八、経費の減少。孤兒院に比し著しく経費を減少す。

九、家庭の改良。家庭を訪問するとは保育所の任務の一なり。家庭を改良することは訪問によりて充分に遂げらるべし。鮫ヶ橋の如きは其細民一圍總てが、二葉幼稚園の當事者を尊敬せり。

(X)

# 幼児の睡眠時間と體重

京都市豊園幼稚園 司馬のぶ

## 一、 はしがき

本誌第拾五卷第貳號で、夏期に於ける幼児の睡眠時間に就て調査いたしました結果を報告いたしました。が其中に睡眠と握力との關係につきまして次の様なことを申し述べ置きました。

「男兒は睡眠時間の多いものが握力も強いですが女兒はこれと反對に、睡眠時間の多いのが握力が少ないのを見ますと、男兒の睡眠時間の多少とその握力との關係は、女兒の場合よりは深く従つて睡眠時間の幾分を減少せられると、直ちに全體の精力に影響を及ぼし、ために握力も減少するのでありますまいか、又女兒の睡眠時間の少ないものが握力の強いといふのは、睡眠と深い關係ある氣質のためではありますまいか」。然るに其後なほこ

れと關聯いたしました幼児の睡眠時間と體量との關係を調べて見ましたから、其結果の大略を申し上げて見たいと存じます。

## 二、 調査方法

前に睡眠時間に關して調査いたしました園兒に就て、夏期休暇後の體重を測りまして、前の睡眠時間との關係を調べて見ましたのでございます。

睡眠時間の時の被験者は、一歳より十歳までの幼兒を通じて調査いたしましたのでございましたが、體重の方は、調査に稍々困難な事情もございましたので其の中の五六七歳の園兒のみに就ていたしました。

かくのごとくして調査いたしました被験者をば先づ男、女、年齢の別に從ひ分類し更に其各々を

睡眠時間の多少に従ひ二組にわけました。而して睡眠時間の多いもの及び少ないものの平均睡眠時間を求め、更に平均體重をも算出したしまして次の表のごとき結果を得ました。

睡眠時間と體重

年齢	性別	睡眠時間の多少	人員	平均睡眠時間	平均體重
五年	男	多	2	10 <sup>時</sup> 10 <sup>分</sup>	4, 885 <sup>克</sup>
		少	1	9, 6	4, 50
	女	多	1	9, 36	3, 500
		少	1	9, 18	4, 850
六年	男	多	3	9, 55	4, 530
		少	3	9, 6	4, 283
	女	多	3	9, 46	3, 800
		少	4	9, 5	4, 125
七年	男	多	5	9, 45	4, 610
		少	6	9, 6	4, 528
	女	多	2	9, 6	4, 240
		少	3	9, 18	4, 950

三、結果

右の表について睡眠時間と體重の數値を申して見ますると、五年の男兒の睡眠時間の多いもの平均睡眠時間は十時十分でございまして、其の平

均體重は四貫八百八十五匁で睡眠時間の少いもの平均睡眠時間は九時六分で其平均體重は四貫五十匁でございまして。同じ女兒の睡眠時間の多いものの平均睡眠時間は九時三十六分で其平均體重は三貫五百匁となつて居ますが、睡眠時間の少ない方の平均時間は九時十八分で平均體重は四貫八百五十匁となつて居ます。六年の男兒の睡眠時間の多いものの、平均睡眠時間は九時五十五分で、其の平均體重は四貫五百三十匁でございまして。又同じ六年の女兒の睡眠時間の多いものの平均睡眠時間は九時四十六分でございまして、平均體重は三貫八百匁となつて居ます。少い方の睡眠時間の平均睡眠時間は九時五分で、平均體重は四貫百二十五匁となります。七年の男兒の睡眠時間の多いものの平均睡眠時間は、九時四十五分で平均體重は四貫六百十匁、睡眠時間の少ない方の平均睡眠時間は、九時六分で平均體重は四貫五百二十八匁、同じ年の女兒の睡眠時間の多い方の平均睡眠時間は

九時六分平均體重は四貫二百四十匁、睡眠時間の少ない方の平均睡眠時間は九時十八分で、平均體重は四貫九百五十匁でございます。

五年の男兒の平均睡眠時間の差は、一時間と四分でございますして其の平均睡眠時間の多い方が、平均體重も八百三十五匁多く、それと反對に女兒は、平均睡眠時間の差が十八分でございますが、其睡眠時間の少ない方が體重は、一貫三百五十匁多うございます。

六年の男兒の平均睡眠時間の差は、四拾九分で其の平均睡眠時間の多い方が、二百四十七匁平均體重も多く、女兒は其れと反對睡眠時間の差は四十一分でございますが、其の睡眠時間の少ない方が體重は三百二十五匁多うございます。

七年の男兒も平均睡眠時間の差三十九分でございますが、睡眠時間の多い方が體重も八十二匁多く、女兒はこれも亦前同様に睡眠時間の少ない方が七百十匁多うございます。この様にふしぎにも

亦、睡眠時間と握力との關係の場合と同様に、各年齢を通じて男兒と女兒とは、全く正反對の關係を示して居ります。

即ち男兒の場合におきましては、睡眠時間の多いものが體重が多く、女兒は睡眠時間の少ないものが體重が多いといふ結果を得ましたのでございます。

#### 四、所 感

近頃は身體の強弱を定めますのに、體重を示す數を、身長を示す數で除した價の大小を以て、標準となる様になりました。つまり其價の大なるものは小なるものより強健であるといふことに、なりますのでございます。この點から考へて見ますと比較的體重の多いものは、強いといふことになりませんかと存じます。故にこの調査の結果をいひかへて見ますと男兒の方では睡眠時間の多いものは少ないものよりも強健でありますが、女兒にお

きましてはこれと反對に、睡眠時間の少ないものが多いものより却つて、強健であるといはねばならぬだらうと存じます。

もしかりに握力が其の幼兒の精力をあらはすものといたしまして體重が、身體の健否を代表するものといたしますならば、身體の強健なものが精力も亦強大で精力の微弱なものは、身體も亦薄弱であるといふことを示して居ると存じます。

而して男兒におきましては睡眠時間の多いものと精力が強大で身體が強健でございませうけれども女兒におきましては却つて、睡眠時間の少ないものが多いものより精力身體共に、優秀であるといふことになりませうのでございます。

併しこれはほんの所感です、加ふるに被験者の數が誠に少數ですから或は偶然的結果であるのかも測られませぬけれど、握力との關係と全く同様の關係を體重にも認めましたから、前の報告の補充として貴重なる本誌を拜借して皆様の御一讀を

煩はした次第でございませう。之に關聯した御觀察なり御研究もございませうたら、どうか教へていただきたうございませう。

### ○保育所經營上の注意

(生江孝之氏)

- 一、適當なる保姆の選擇。事業の成績は其人を得ると得ざるとにより定る當事者は保姆、看護婦、産婆等の内より、成るべく斯業に興味を有する既婚者を選擇して之に當らしむべきを要す。
- 二、相當俸給の支給。
- 三、保育方法の研究。保育に關する取扱法、衛生、等に付時限を利用し、練習切磋すべし。
- 四、年齢の制限。生後二三月より六才迄を收容するを可とす。
- 五、兒童と保姆との較合。三才乃至六才位ならば十五人乃至二十人迄。乳兒は五人の較合(神戸)。
- 六、年による區別。室は乳兒、匍匐兒、歩行兒(二三才)、幼兒の四室に分つを可とす。
- 七、母乳又は牛乳を與ふ。母乳を與ふことは實際困難なれども、可成之を實行せしむべく、もし能はざれば牛乳を與ふべし。やや長じては煉乳を與ふるもよし。
- 八、入所前の調査と診察。家庭を調査し必要なる條件を具備すれば入所せしむ。入所前には診察し、病の潜伏を慮り、一二週間室を別にすべし。
- 九、衛生上の注意。食物、飲料、ムツキ、兩便等に注意すべし。
- 十、母親の監督。母親の職業に就き正業を與ふるやう注意すべし。
- 十一、貯金の獎勵。
- 十二、一般施設に關する注意。衣服、搖籃、浴室、物干場、遊戯物、置物、樂器、掛圖、ムツキ等を設備すべく。尤も火災に注意すべし。(救濟研究第三卷第七號より)

## 夏季の水遊び

大阪市御津幼稚園 小山 ひで

私共の秒時も念頭を離れぬものは都市の小供の身體教育即ち體育で御座います。殊に我大阪は東京京都に比べまして尙痛切に是れを深く／＼考へねばならぬ様に出來て居ります。

或日金剛山頂に登りまして、あの黒い雲の様に見えるは烟の都即大阪の市中であると指されました時は我知らず身震ひをいたしました。不幸なは大阪市民、中にも前途を形づくる市中の小供は皆あの地獄の底に沈んで平氣で居るのであるかと思つて參りますと余りに文明の力、物質の力の恐ろしさに戰慄せざるを得ませんので御座いました。下山の途中同伴の人々に怪まれる程口も利かずに其事のみ考へて居りました。そして市中の幼兒を預る自分の責任の重さをひし／＼と感じました。

其結果第一に頭に浮びましたのは夏期休暇中に

幼兒の體格が其前月に比べまして著しく退步するといふ事實を幾分か防ぎたいと云ふ心から出た園舎開放で御座いました。大阪の街として比較的廣い場所を占めて居る園舎を閉ぢ置く一方に其園兒が狭い風通の悪い家の中で間食と我儘に依つて僅に感安を得て居ると云ふ矛盾はどうして幼兒の體格をよくしてよいものでございませう殊に小學校の課業は學業で御座いますから休暇の必要が或はあるかも知れませんが幼稚園は幼兒の全生活である遊戯の場所では御座いませんか、其なれば毎年八月に幼兒の生活即遊戯が中止しない以上は全然休園をさすといふ事は意味のない事ではありますまいか。

併し酷暑の折柄設備する所なく他の時期と少しも變らぬ保育をいたしますは却て幼兒の身體を損



じる恐があるかも知れませんが其時期に相當する設備をいたしまして適當な方法に依つて其生活即ち遊戯を全うせしめます事が出來ますならば幼兒の幸福は言を待たぬ事であらふと存じます。

そこで何か適應した設備もがたと考へて居ります内いつか上京の際東洋幼稚園の水遊びを拜見いたしました。事を思ひました設備は充分でないと言長様から伺ひましたが其方法なり先生方の御努力によつて喜色の溢れて遊び居つた幼兒の顔が深くく私の頭に印象いたしました其が當事者からこの水遊びの計畫を經濟的の困難のため斷然に拒まれたのを數回押しかへし遂に初志を貫く事の出來ました努力の原動力となつたので御座います、それでいよく其れに着手いたしましたのが全體私は無經驗な所へ粗忽な性質が手傳つていつも何を計畫いたしましたしても失敗を重ねて困ります。この水遊びの設備なり保育も又この轍を履かしまして種々理想と實際が伴ひません事が出來ましたこれも

一つの經驗で何かの御參考になりましたならば甚の事に存じますから理想と取りませ申上る事にいたします。

#### 第一設備

1、場所として水遊び中は日蔭で他の時間には日光の直射する所(園の東に片寄つた藤棚下)を撰びました。其れは水に侵りました所を自然に乾燥さして消毒する必要からでございます。

但し水道を引くに便宜殊に噴水設備に餘り多額の費用のかゝらぬ所又他の遊び場所の防害にならぬ事などにも注意いたしました  
2、庭園が幼兒數の割合に狭いものですから冬季には蓋をいたしまして其上部に砂利を入れ一般運動場と平均にいたしました。

3、池の周圍に田舎式の趣を添へます爲に焼杭を四隅に立て蘆其他の水草様のものを植えます積りで御座いましたが水道の鉛管に妨げら

れまして半ばも理想通りに出来ませんでした  
4、外廓と内部との間に一段を設けまして遊び  
臺又は腰掛等にいたしました。が時には水浴を  
しないでこの段から水遊びばかりいたします  
事もございます。この時は猿股を穿ち裳を高く  
揚げ掬網を持つて魚を取るもの水鐵砲、ポン  
プ等で遊ぶもの等御座いまして又一興で御座  
います。

併し作りますについて其形に餘程苦心をいた  
しました幾何學的の形にいたしますと湯槽の  
様になり、犬だとか猫だとか幼兒的のものに  
致しますと、其が爲に場所をとり遊ぶ面積が  
減じます、色々考へました末蝶の型をとりま  
した但し角は凡て搔落しまして危険を防ぎま  
した。

5、水をいつも清くして置くといふ事と幼兒が  
水に入りました際足部に一種の刺激を與へ快  
感を覚えさせたい目的で水底三寸ばかりに小

砂利を入れましたが全く失敗に終わりました。そ  
れは幼兒に快感を與へますことは豫想通りで  
御座いしましたが水の濁ること夥しくて、どん  
なに善く掃除をいたし置きましたも一度幼兒  
を入れますと泥水に化しまして用を致しませ  
ん、これは排水口を其噴水口に近づけて造つ  
た爲だと悟りましてやむを得ず小砂利を引上  
げました後で考へて見ますと送水口は一方の  
隅、排水口は其反對の隅に致しまして次第に  
低く斜面に造り常に送水を致しましたならば  
田舎の小川の様な美さを保つて居る事が出来  
たかと存じます。

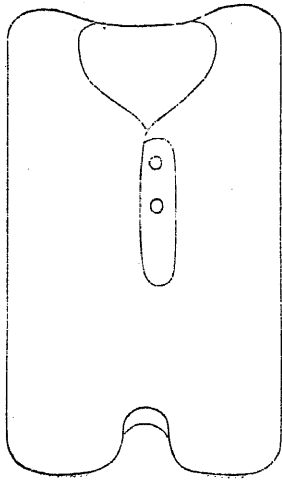
6、噴水口を池の中央に開き其螺旋は細大分合  
意の儘になる様な舶來品を用ひました、殊に  
注意いたしましたのは幼兒の入水中は其先を  
水面より上に顯はし船だとか盟を入れます時  
はこれを根から抜きとりまして危険のない様  
にいたしました事でございます。

7、魚の逃げ場所を池の横に作りましたがたゞ一方だけに穴を造つて置きましたために活動的な幼児は何で見逃しませう穴に掬網を入れまして搔廻はして魚を休ましませんまだ一曲りも二曲りもあるものを造る必要を感じませんでした。

## 第二保育用具について申上ます。

1、至極簡単な圖の様な水泳服をつくりまして幼児等が自分の手で自由に着かへ得る様になりました。

表

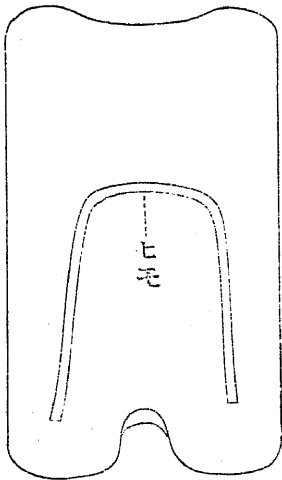


右は防水布で造りましたから直接身體に水の浸み入る事が少くて衛生上都合よく其上簡單でございまして布が僅かしか要しませず動作も輕快に出來ます殊に盛夏の季節で御座いますから早くからこれと着かへさしまして涼しい木蔭又は廣い會集場で自由に遊ばして置きますのに適當でございます。

## 2、吳座數板

會集場に排べまして角力場とも繪本觀察場とも聽話席とも喫茶所とも致しますが水に入り

裏



ましても後は濡れた衣を脱ぎまして手拭で全身を拭ひましたり耳綿を除きましたり専ら身體の跡仕末を致します爲に用ひます。

### 3、繪本數冊

水泳前後に於きまして靜止的に之を要求する幼兒の爲に備へ觀察力又は理解力を練習致します。

### 4、耳綿

脱脂線を用意致しまして幼兒の耳に入れ水の浸入を防ぎます。

### 5、魚

魚を入れますのは種々の點に於て幼兒の興味を惹くもので面白うございますが餘り適當なものが御座いません。

イ、泥鰌　ロ、鮒　ハ、金魚　ニ、鯉

ホ、鯉　ヘ、目高　ト、蛭　チ、龜

リ、蟹

イ、泥鰌は網で掬ひましたり摺みましたり興

味津々でございしますが比較的弱くて不經濟

でございすけれども一時的に幼兒を喜ばすものは之に上越すものは御座いません。

ロ、鮒は泥鰌に比べまして價も高く面白味も少なう御座います。

ハ、金魚は觀賞的で幼兒の侶伴にはなりません。

ニ、鯉は價が高くありませんが最強く池の遊び六十日間幼兒の相手になりまして或時は摺まれ或時は追廻され又或時は掬はれまして既に危く見えました事も數回御座いましたが弱りませず平然として泳いで居ります。

ホ、鯉は價が高くて弱う御座います。

ヘ、目高は價が廉で興味深く遊べますが排水の時に取逃す憂があります。

ト、蛭は池の底に豆砂利を入れましたならば是に混じまして採らします、これは採集的

の興味を湧出させ延いて感覺の練習になります。

チ、龜は逃げ易く興味が少なうございます。

リ、蟹は幼兒を挟みまして危険で御座います

## 6、玩具

イ、掬網　ロ、手桶　ハ、如露　ニ、漏斗

ホ、船種々へ、笹葉　ト、木屑　チ、バケツ

リ、水鐵砲　ヌ、ピンボン球　ル、同臺

オ、福助桃太郎のカチ〜（サイフホオン應

用）

ワ、散水電車　カ、ポンプヨ、蒲鉾板製下駄

タ、其他

イ、掬網は細かい程面白う御座います。

ロ、手桶　ハ、如露ニ、漏斗　ホ、福助のカ

チ〜　バケツ　ハチマ人形等は女兒に迪

へられます。

ハ、船の種々は紐をつけて置きませんと活動

的になりません。

ニ、笹の葉は船を造りましたり其他種々の細工をして水に浮べます。

ホ、木屑は船積用又は色々な素材玩具として

使はれて居ります。

ヘ、水鐵砲は水泳服を着けました時に限つて

つかはしますそれは衣服を濡らす虞がある

からでございます。

ト、ピンボンの球は噴水の出口に使ひますと

舞ひ上りまして美しうございますが餘り觀

賞的に過ぎまして他に比べて喜びの少ない

方で御座います。

ム、蒲鉾の板又は平たい五寸角ばかりの下駄

の非常に面白う御座いますそれを穿ちまし

て水に入りますと浮力の爲容易に歩まれます

せん。そこで面白味があり又得る所がある

ので御座います但しこれは大小種々のもの

を備へまして其面積の浮力に關係すること

を知らしたいと存じて居ります。

り、船は經濟と都合で買ふ事が出来ませんので盥を代用に致しました所、角がない爲危険が少なくて應用に便で且幼兒の自由になり船に勝る事數段で御座います之は止むを得ずして成功致しました。

### 7、足場の板

衣服を替へましたり又玩具を取ります際に洗足で御座いますから衛生上の危険を慮りまして面の滑かな細板を道筋に置きました。

### 8、圓木橋

少し池の一方へ片よつた所に徑八寸ばかりの面の滑かな圓木を渡しまして渡る面白味に飛臺を兼用いたします事を加へました。これも比較的成功的部でございました。

## 第三保育上の注意

1、體温を驗温器で一々側りまして平常より高い時は止めさせますつもりで御座いましたが非常に手数が掛りまして實行が出来ません遂

に保姆の中の衛生の心得深き人に手心で大略熱の有無を測つて貰ふ事に致し又一方家庭にも通じまして幼兒の身體に異状のある時は通知を願ひました。

2、水に入る時間は五分間位と豫定致しましたが幼兒の喜びの度に比しまして餘り短時間で本意ない有様でございますから其日の氣温又は幼兒の年齢に依りまして十分迄は許すことに致しました。

3、止めの合圖を嚴守致します事に約束を致しました面白味に任しまして恣に致すことを禁じましたが困難なく實行が出来ました又水よりに上がり衣を替ふる迄に寒さを感じません爲に水泳後二分間馳足を致させました心身ともよい結果を得た様でございます。

4、盥とか板下駄其他の玩具を與へました時は水の壓力又は浮力權衡等を知らす事に勉めましたが幼兒から發問致します事が多く御座い

ます。其機會を利用致しまして種々指導致さねばならぬ必要を感じました。

5、男女兒を混じますといふ事は衣を替へます時に於きまして赤裸々になりまます爲に性の方面からも面白くない感じを致しました事と水に入りましてからの活動振りが全く異つて居ります爲に相互の迷惑を鑑みまして男女別に致しました。

6、當大阪は水の都でありながら先天的に水を恐れる氣象がありますそれは川邊に行きまして過つて溺死致すものが多いからでありますこの爲に遣傳的に年少女兒の中に水を恐れるものが一二御座います。これを誘導致しますには初回に於きまして水の量を少なくし馴れますに従ひ次第に其量を増す事に至しました7、氣温に依りまして遊びに二種御座います可なり涼しい日は衣を替へませず裳をからず猿股を穿たしまして直接水の中に體をいれませ

んで池の側から遊ばします又暑いと思ひます日は水泳服と更さしまして水中に入るを許します。

實際保育狀況(其一)八月四日快晴 九十度

定刻に先つこと一時間はや續々と入り来る九十度の炎暑を小さな洋傘に、避けつゝ手拭ひ片手に甚平姿の輕き装ひしてまづ笑顔を先に先生お早やうの挨拶もこゝ暫くは互に相見ぬ事とて懐かし氣なる模様は其目の奥によまれたり、草履はき替ふる暇もあらばこそかけよりに双の袂にすがり付くにぞ保姆は先づ云ひ知れぬ嬉しさに暑さも稍や忘れたり定め時刻に一堂に集りし幼兒の總數三十五名長兒に比して好成績なりといはざるべからず、疊敷きの上にて園長より水遊びに付きての御話を承り豫定の場所にて互に扶け合ひつゝ暫時に水泳服に着替へたり。いざとばかり各兒に好む玩具を取らしめ池の周圍へ連れ行きぬ。

流石に年少兒の故を以て暫時は躊躇の體なりしかば自分は早速裾端折り水中をジャブ〜日頃元氣なる男の兒を數名池の中へ連れ行きたり、之を目撃せる一同は稍々色めき來たりしかば皆々水中へ水中へと導き水鐵砲に鎗掴み盟の御船等右往左往に入亂れたる様恰も歡聲に満ちたる水戦争の如く就中高林龍子一人平然と盟の御船に乗り大勢のものに押さしめよつしよい〜は頗る愛嬌なりき。かくて十分の時に到りしかば一同を會集場に入れ各自持參の手拭ひにて全身を拭はしめ常の装に

『菊ちやんの新遊戯』(アルコット) (三)

〓 英文學に現はれたる子供(三十二) 〓

ならしめたり用意の麥茶は直に運ばれ心行くまで咽喉を濕しぬ。

幼兒は繪本觀察自由談話等の拘束をも受くる所なく全くの自由界に遊べるなりき十一時を合圖に一同圓座を作り園長より面白きお伽話をきき又の日を約し各自歸路につく。兒等の歸宅後今朝よりの有様を心に浮べ我知らず微笑を漏さざるを得ざりき是蓋し純日本の家族なる今日の保育が幼兒を歡喜せしめ延いて我等の満足となりしにはあらざるか。

岡田みつ

其午後は一同がまあ菊ちやんに御世辭を使つた事！ トムといふ子はまだ當てもないのに自分の

庭の果實を寄附する約束をするし、ネッドは無賃で薪まきを供給するといふし、ナットは明日とも云は



す菊ちやんの臺所にと冷蔵庫を作り始めるし、菊子の兄さんは時計が五時を打つと一分も遅れずに遊び室へ入つて来た。未だ茶會の始まる時刻では無かつたのだが、是非手傳はして呉れと頼むので菊ちやんも特別を以て其を許した。デミ(兄の名)は大喜びで、火を起こしたり、使歩きつかみをしたり、熱心に御料理の様を見物したりした。伯母様は用の暇々に来て大體の指圖をした。

「エシヤの處へいつて酸くなつた牛乳ウチ乳を一杯貰つて入らつしやい。御菓子にソーダを澤山入れずに、軽く出來ていゝから。」

デミは階下へ跳り去つて、忽ち濼い面をしながら、クリームを持つて歸つて來た。途中で一口舐めて見て大層酸っぱかつたので、これでは御菓子は必然きつと食べられまいと豫言した。それで、伯母様は此期を利用して、ソーダの化學作用を、踏臺の上から、説いて聞かせた。デミはその講釋には一向耳を貸さなかつたが大要は了解したらしく、無

造作に、

「えい分つた。ソーダは酸いものを甘くするんですね、そしてシユットと言ふと軽くなるんだ。

菊ちやんあなたのためを爲る所を見せて御覽」

「その鉢に麪粉を一杯いれて、鹽を少し混ぜて」と伯母さまは引續き指圖をした。

「まあ、何でも鹽はちが入るのね。」と菊ちやんは鹽の入れてある箱を明けるがもう面倒になつて、かう言つた。

「鹽はね人の機嫌のよいのと同じで、何事にでも上機嫌といふ事が加はると工合が宜いのだ」と伯父様は、手に鐵槌かねづちを持つて、通り掛かりに、菊ちやんの御鍋なべを引掛ける釘を打つてやると立寄つた。

「伯父様は、御茶に招かれていらつしやらないのよ。けれども、御禮に御菓子を上げませう。私もう怒らないで爲るわ」と菊ちやんは言つた。「あなた。私の料理の組クラスの邪魔をなすつてはいけませんよ。もしあなたがラテン語を教へてい

らつしやる時に、私が入つて行つて御説法を始めたら如何なさる」と伯母様が言ふと、

「結構だとも。来てやつて見たまへ。」と言ひ捨て、伯父様は機嫌よく立ち去つた。

「ソーダをクリームの中へ入れて……デミの言ひ草のやうにシユツ！と言つたら麴粉の中へ混ぜ込んで、それから精ツセ〜とかき混ぜるの……鐵鍋をよく焼いて置いて、バターを塗つて、其からその中で御菓子を揚げていらつしやい、伯母様が歸つて来るまで……ね。」

と伯母様は言ひ置いて行つてしまつた。

小さな匙がカタ／＼音を立てる。麴粉がクルル／＼かき交せられて泡が立つ。菊ちやんが鐵鍋に其を垂らし込むと不思議なやうにプウツ！と膨れる。見て居るデミの口からは涎が垂れさう。併し實際は、第一回は菊ちやんがバターを塗るのを忘れたので焦げ付いてしまつたので、第二回からは上手に行つて忽ちの間に六個の小菓子が無事に皿

の上に載つた。

デミは、獨特の食卓上の配置なまべかたをして、腕掛椅子に坐をしめて、

「僕は御砂糖よりも糖蜜の方が宜いな」と言ふ。

「そんなら、エシヤの處へいつて貰つていらつしやい」と菊ちやんは言ひながら、手を洗ひに浴室へ行つてしまつた。

遊び室が空虚からになつた間に、大事變が起こつた。

犬のキツトは肉を無事に届けたのに、何の御褒美も貰へなかつたので、終日立腹してゐた、悪い犬ではないのだが、世間並に缺點もあつて、誘惑に遇つた時に必らず抵抗し終せるとも限らなかつた。今、偶然遊び室へ入つて来て見ると、好い匂がして、低いテーブルの上に御菓子が出し放しになつて居た！そこでキツトは前後の考もなく六個を只一口に頬張つた！相憎あひにくだか、幸ひだか、御菓子が未だ熱かつたのでキツトは口を火傷やけどをして思はずワン！と吠へた。菊ちやんは、それを聞

き付けて走り戻つて見ると、御皿は空虚になつて居て、犬の尾の尖端が寢臺の下へ隠れる處であつた。物も言はず、菊ちやんは、其尾を攫んで犬を曳摺り出し、その耳がバタ／＼言ふ程に、小突き廻して階下の物置へ押込めてしまつた。

兄さんに慰められ勵まされて、菊ちやんは、また一杯の麩粉を用意して、十二個の御菓子を焼いた。こんどのは前のよりも上出来であつた。伯父様は二つ食べてから、こんな美味いのを口にした事がないと申遣はれるし、食堂では一同が二階のデミの御茶會を羨んだ。

全く愉快の御茶の會であつた。何故といへば、急須がたつた三度ひつくりがへつた限りで、ミルク入れも一度轉覆したばかり、それに御菓子が糖蜜の中に漂つて居て、焼バンは御料理人がビーフ・ステーキを炙いた鐵鉈を使った爲に、どこかに牛肉の匂がした位であつたから。デミも平常の理屈っぽさを忘れて、只御腹へ填め込む一方であつた。

菊ちやんは傍で未來の大饗宴の設計をすると、人形達は機嫌よく唯見物してゐた。

「どうです。御馳走の工合は」と伯母様は貞ちやんを抱いて上つて來た。

「實に美味い。またちきに御馳走になりには僕は來ます」とデミは力を入れて答へた。

「どうも食べすぎた様ね」

「大丈夫！僕たつた十五しか御菓子を食べませんよ。あんな少さいのに」とデミは辯解した。自分が満足するまでに随分菊ちやんを働かせたのに。

「毒にはならないでせう。美味しいんですもの」と言ふ菊ちやんの言葉には、慈母的の優しさ、主婦としての誇りとが籠つて居たので、伯母様は微笑して、

「つまり、この新遊戯は……大當りなのですわ。」と問ふた。

「僕は好き」とデミは自分が賛成すれば事が落



のに、もし上手に事が運んだら小敷の人に饗應を  
しやうといふのであるから、其心遣ひは一通では  
なかつた。菊ちやんは、

「伯母様は、男兒達が亂暴をしないやうならば、  
成る丈一所に御遊びと仰るから、あの人達が今  
日の舞踏會を面白がるやうにしなければならな  
いわ。あの人達の爲にもなるから」と言ひく  
食卓を飾り、御馳走の盛つてある工合を心配さう  
に眺めてゐた。

「デミさんとナットさんは大人しく爲さうだけ  
ど、トムさんは悪戯をするに定まつて居る」と  
ナン(菊ちやん位の小女)は御菓子を盛りながら首  
を振つた。

「さうしたら追返して終ふと」菊子が決然言ふ。  
「夜會なんかの時にそんな事をしちや失禮だわ。」  
「そんなら、二度と招待しない事にする。」  
「それなら良い。饗應に來られないで失望するで  
せうね。」

「きつとさうよ。饗宴には立派な御料理をしませ  
うね。眞實のスープを作へて、チャンとスープ  
入れに入れて杓を添へて、それから七面鳥のつ  
もりで小鳥を使つて、掛汁も作つてよ。……そ  
れから種々の野菜もね……」

「もう三時だ……着物を着換へなくてはい」とナン  
は今日のにと立派な衣裳を整へたので、早く着た  
くて堪らないのであつた。

「私は御母さんだから、さう着飾らないのよ」と  
菊ちやんは言つて、伯母様の長い裾を曳く裳を穿  
いて肩掛を纏ひ、紅いリボンの花結びを付けた帽  
子を被り、眼鏡を掛けて大きな手巾を手にして、  
其で身支度が整つたのであつた。丸々肥えた、色  
艶のよい中老の夫人が出來上がった。

ナンは造花の花環に薄紅色の古上靴、黄色の袷  
巻に綠色の裳、塵拂の羽で作つた扇子に更に氣取  
つて香氣なしの香燻までも持つた。

「私や娘だから随分御しやれをするのよ。そうし

で唱つたり舞踏をしたり御談話はなしもあなたよりかもつと澤山しなくてはね。御母さんといふものは御茶の支度をして、御行儀よくして居ればいゝのですもの」

急に烈しく戸を敲く音がしたので、スミス嬢は駆け出していつて椅子に着いて、せか／＼扇子を使つて居ると、母夫人は長椅子にツンと坐つて澄さうと努めて居た。泊りに来てゐた菊ちやんの従妹このベスちやんが女中の役で戸を開け、にこやかに、

「ちや御入りなちやい。皆ちやん。」と迎へた。

今日の催しに敬意を表して、男兒達は高い紙製のカラを付け黒の禮帽に、雑多の色の手袋といふ扮装いでたちをして居た。手袋は後になつての思ひ付きだつたので一人として双手の揃つて居たのは無かつた。

「今日は夫人おくまん」とデミが太い聲で挨拶をした。その太い聲を聞けるのは骨が折れるので文句を止む

を得ず簡單にしたのである。

一同握手をして、坐に着いた。が、主客共にかにも滑稽なものにしかも眞面目なのが、可笑しくなつて紳士連はとう／＼作法を忘れて聲を上げて轉ろげさうに笑つた。

「笑つちやいけません」とスミス夫人が困りきつて言つた。

「そう御行儀が悪いと此次から來させない事よ」とスミス嬢は、トムが一番大聲で笑つたといふの下香櫃にほひびんでトムを叩いた。

「可笑しくて堪りやしない。ナンさん全然まるごと化物見たやうだもの」とトム君は、無作法にも思ふ通りを頓着なく言つて退けた。

「貴君あなただつてそうだわ。だげと私やそんな失禮な事は言はない。ね菊ちやん。この人は響應おこたへに來させますまい」とナンは怒鳴つた。

「舞踏ダンスを始めた方がよいでせう。貴君、胡弓を御持參下さいましたか」とスミス夫人は、落付い

た態度を續けやうと努めて居た。

「入口に置いてあります」とナットは取りにいつた。

「御茶が先の方がよい。」と鐵面皮のトムは言ひ出した。而して御馳走を食べるとすぐに暇を告げる約束だつたとデミはしきりに目配ばせした。

「否御茶が先といふ事はありません。あなた、上手に舞踏をしなければ御馳走は貰へないのですよ。え、一口だつて食べさせませんから」と夫

人が厳しく言ひ渡したので、さすがの亂暴な御客連もこの夫人は馬鹿に出来ぬと悟つて、俄に丁重懃懃になつた。

「私がバンク氏と組になつてポルカを御教へしませう。此方は少しも御存しなくて見つともないから」と夫人は言ひ添へて窘めるやうにトムを見遣つたので、トムは急に眞面目になつた。

ナットが胡弓を弾き出した。舞踏は二人組が二つで、兎も角も正直に行はれた。婦人連は、好きな

ので、上手に踊つたが紳士達は御馳走に與る手段だからとの手前勝手理由で、我慢してやつてゐた。誰も彼も息が切れて來たので皆休息した。特にスミス夫人は、氣の毒にも裾長の衣裳に幾度も躓いたので、ひどく弱つて見えた。小さな女中が

糖蜜水を持つて廻つたが、茶碗があまり小さいので、一人の客は九杯も飲んだ。その姓名だけは態と省くが、此客人はこの飲料に酔ひでもしたか、九杯目には茶碗ごと口へ入れて、満坐の中で咽を詰まらせるやうな騒ぎを演じた。

「あなた私の娘にピアノを弾いて唱つて呉れと頼まなくてはいけない」と菊ちやんは、兄さんに指圖をした。

「御嬢さん歌を一つ御願ひ申ます」と従順な客は言つたが、ピアノは何處にあるのだろうと心に怪んでゐた。

スミス嬢は、室の片隅にある机の處へスル／＼と歩いて行つて、蓋をはね退けて、その前に坐つ

て獨りて伴奏しながら唱ひ出した。その弾き方が  
烈しいので、古机がガタ／＼音を立てる程であつ  
た。一曲了つた處が、御客の喝采が非常なので、  
令嬢は次ぎ／＼知つて居る限りの子供唄をやり出  
した。竟には御客が困つて、もう澤山ですといふ  
素振りをして見せた。スミス夫人は、娘を賞めら  
れた嬉しさに、慇懃に、

「さあ御茶に致しませう。靜に御着席下さい。手  
荒くしては駄目よ。」と言つた。(續)

## 雜 錄

### ○大會の盛況

全國幼稚園關係者大會は、事の頗る氣運に適合せると、會員諸  
君の熱心なる準備とによつて、計畫著々進捗し、會期三日間は最  
も盛觀を呈すべき景況で有ます。會員として出席を申込まれたる  
數は、本號締切までに既に四百餘名に達し、内百數十名は東京、  
他は京都、大阪を始め全國諸縣に亘り、北海道、沖繩、朝鮮、滿  
洲等の遠きよりも、態々來會せらるる向影くありません。而して  
其の一人々々ば孰れも幼稚園教育のために一騎當千の熱心家であ  
りまして、或は經驗豊富なる熟練家もあるべく、或は識見深遠な

る研究者もあるべく、或は斯道の爲に其の激刺たる若き活力を傾  
倒して惜まざる新進家もあるべく、之等の人々一堂に會して互に  
親睦を謀り又種々重要問題に就て相講す、其の盛況期して思ふべ  
きであります。本誌の發行は恰かも其の會期中であると思ひます  
が、時炎暑酷烈の候、來會諸君全體の健康を祈らざるを得ません。

### ○幼兒教育夏期講習會

大會に引つゞいて催せらるべき夏期講習會も例年以上に盛會な  
るべき模様であります。殊に本年の講習科目は、幼稚園教育に最  
も直接なもののみを撰び、それ／＼専門の講師を煩はしたのであ  
りますから、其の結果の有益なるを疑はないのであります。就中  
二階堂講師の體育の最新原理に基く遊戲法と、三田谷講師の教育  
の新方面の研究を幼兒に適用せられたる講演とは、我國幼稚園教  
育に新らしき一面を提供せらるるものでありまして、會員諸君  
の特に專意講習せらるることを希望するのであります。

### ○幼兒用新唱歌集の發刊

萬原幽氏作歌、小松玉巖、梁田眞兩氏作曲の『大正幼年唱歌』第一  
巻及第二巻は目黒書店より發刊せられました。此の方面の缺乏を  
補ふ上に於て、幼稚園教育の爲に賀すべきことであります。



ビエウロウのフレペール追懷錄

S K 生譯

八、ヒーケ博士の來訪

その後のことでありました、或る日の午後私は私達の間に定められてある「私用時間」に於てフレペールに私が今しがた高等學校長をして居るメルセブルグのヒーケと面會して來たこと、彼がフレペールの知遇を求めて居ること、翌日私と一緒にヒーケがマリエンタルへ來ること等を話しました。

「あゝ去年の冬私に答へよとあなたがメルセブルグから送つてお寄越しになつたあの變な問題を提出した紳士ですね」とフレペールは尋ねました。「その方なのです、近頃の學校監理者の中では最も識見に富んで一頭地を抜いて居る方です、あの方が我々の問題に興味を持つて下さると非常に私

達のために都合がよくなります」と私は答へました。

この年の二月メルセブルグに數週間滞在してフレペールの教育法に就て殆んど毎日講演を施してゐたとき最も熱心に私の講演に耳を傾けてゐた人はヒーケ博士、ウィーク博士、伯林博物館に於てフレペールの上官たりし人の兄なる盲目の老樞密顧問官ワイセ、メルセブルグで舂めてその職を奉じたる學校監理者ルユーベンシー——その外に私の友人なるカロー及び美しき同夫人——でありました。

是等の人々及びその他の人々、殊に同地の學校の先生達に親しく會ひ彼等が如何に熱心に、フレ

フレールの思想を受入れてこれを學ばんとし更にこれが範圍の擴大を望んで居ることを見た人は誰でも斯く多數の追隨者を有する割合にその主張が速かに且つ容易に認められなかつたといふことに不審を懷くでありませう、けれども茲に記した人々は眞摯にこのことに注意を向けて下さいました、而して中には新聞にこの事を書いて下さつた方もあります。この時リューベン校長はフレール伯の思想を推贊した記事をメルセブルグ週刊新聞へ發表しました。

同地からフレール伯宛てた書信は（フレール夫人がその後私に私の書信を返戻しました、この時のもその中にあつたのであります）その時の聽講者の最高最深の認識の表現を持つて居ります、その中には種々なことが記されてあります、斯ういふ文面のもあります、「哲學的修養の深いヒューケはあなたの思想及び方法に就て私という／＼深く話しました、彼はこのことは影響が頗る大で

あつてその結果を測り知ることの出来ない問題であると云ひました云々」、彼は殊に「球、立方體、圓錐の基本的觀念に興味を持ちました、而して私が彼にそれを説明してやつたときに彼は言ひました、フレール伯がこの思想を一人で表出したのならばこれは偉大なる功業と稱さるべきであります、一年と経たぬ内に彼の意見が全獨逸國中に權威を保つに至るといふやうな一般的の受容にまで急劇に進み行くといふことはフレール伯の主張に取つて可能なことであります、けれどもそのためには定期刊行物の有力な補助を必要とします、それからその刊行物の現下の政見に關する關係も忘れられてはなりません」

私はフレール伯に言ひました、「私が翌日ヒューケとウイークとに話してゐたときに彼等は彼等が日夜あなたの教育思想を考察して居ること及び彼等があなたがクロゼとヘルバルトとに如何に一致するかといふことを知らうとしてゐるといふこと

を言ひました、私は是等の質問に充分に答へることとは出来ませんでした、けれどもあなたの思想がこれらの人々の胸にもそのひらめきを見せるやうになつたのであります、而してヒーケとリニューベンはマリエンタルを訪れるとのことですからあなたが直接是等の人々に會ふならばあなたはそのことにお氣が附かれるでありません。

ヒーケは別紙に記した質問に對してあなたの回答を望んで居ります、彼は私に彼があなたを尊敬して居ること及び彼があなたの知遇を得たいと望んで居ることをあなたに通じてくれと依頼しました、彼は私の要求に應じて彼の論文二篇の登載されてある「教育月報」二部を茲に同封してあなたに送ります、彼は彼の友なるグーデにあなたの主張を知らせたいと望んで居ります、而して成るべくならあなたの口から傳へらるゝことを望んで居るのであります、その他の學校關係者も亦該問題に就てその同僚と照合し合ひました、

「それであなたはメルセブルグといふ土地は私達に好意を有することがお分りになつたでせう、而してまだ充分には分つては居りませんが兎に角私達の主張は茲に於て凱歌を奏しました、社會の上級といふものは何處でも重要事に對して裕長な冷淡なものであります、此所でもその例に漏れません。

私のフレーベルに送つた手紙の要領は以上に止めて置ませう、ヒーケのフレーベルに尋ねた問題は（これも亦私の手許にあります）次の如くであります——

一、一八二〇年頃に至るまで貴下の系統の發達を説明ありたし。

二、外國語を如何に利用せらるゝか、及び種々の時代に於ける外國語の順序分布を説明せられ  
たし

三、オデッセイの効用の如き諸種の藝術に於け

る時代區劃的の効績を選択し、順序附け、並びにその作物の年代を擧げられたし、

四、獨逸詩人中誰々を選ばるゝや及びその順序を承りたし、

五、傳説は奈邊まで顧慮せらるべきか、及び如何なる態度を以て顧慮せらるべきか、

フレトベルは是等の問題に應答しませんでした——これは彼の従事して居る教育的分野から全く掛け離れたものであります——而して私が以前是等の問題に就て再び彼を促した際彼は是等の問題は彼の考ふる所によれば是等の間違とは違つた基礎の上に立つ彼の教育主張をもう少し深く解することによつて自から了解さるべきであらうと云々と書き送つて寄越しました。

フレトベルはこの時も同じやうなことを言ひました、而して子供らしい樸素を示しながら「學識の深い人々が私が理解して居るよりも遙かによく

理解して居ることを私に尋ねないやうにして頂きたいものです」と附加へました、

私は答へました、「學校關係者達は若しあなたの方法を採用するとなるとあなたの教育法と學校教育との結合が充分に説明せらるゝことを欲します——さうでなければ彼等はその興味を失つて了ふでせう」

「彼等は家族の父ではありませんが最も幼きものは彼等には縁の薄いものであります、而して多くの者は幼年者を方法的に感化する如何なる方法をも拒斥するのであります、

「彼等にはあなたが學校に於ける教育法を差して置いて人類發達の原理を云々するのが分らないのであります、斯ういふ考を以て尋ねられる間に對しては私は常にあなたがペスロッチの方法に協賛するものであつてあなたはたゞそれを補ひ且つそれに何物かを附加へて學校と實生活を於近き關係に持來さんとするものであるといふことを答

へてやります。」

フレーベルは言ひました、「成程、しかし私はこの目的のため何等かの方法によつて教育的作業のために學校の課業から多くの時間を取り來ることを申出でたいのです、而かも學校がすだての人が學者とならなければならず又なり得るかのやうに生徒の一生を通じて役立てるためにとて與へる知識の總高の中に救ひ認める學者達にはこのことは肯じられませんが、あなたはエムやエスがこのことに就て何と言つたかを御存じでせう、又彼等があなたに幼稚園のために骨を折らるゝことを如何に強く反對したか而して又彼等が如何にして吾人の説に半ば耳傾けんとしたる大臣ヴェーの心を翻させたかを御存じであります。」

私は答へました、「それでも大臣はそのことを知るためにあなたに會ふために此所へ來る筈です、本當に直きな來るといふ話です、けれどもあなたはヒューケを今仰有つた人々と等並みに見て了つて

はいけません、彼はそんな偏屈な人間ではありません、いやそれどころか彼は寛濶な胸を持つてゐて物事に熱心になれる性質です、而してあなたは彼と話をする時彼は言語學者であり哲學者であつてあなたの所謂自然哲學者ではないといふことを忘れてはいけません」

フレーベルは彼の教育法を説明する機會が得られるとふいので訪問殊に教育者の訪問を受けることを好みました。自分の眞意を他人に了解させること尠くとも誤無く了解させることの困難な經驗に度々遭遇した結果として彼は訪問さるゝことを幾らか恐れて居りました、その上彼はこの方面の科學に於て確實な智識を欠いて居るといふことのために自分の「學者」でないといふことを感じてゐたのであります。而して是等の訪問客は皆各自の専門とする科學と彼の方法との關係の特別な研究を望むといふことはよくあることであります。

その結果或者はフレーベルに不満足を感じさせ

ます、而して彼等はフレーベルは兒童遊戯と學校の準備に順應させやうとしてこれが改善のために甚だ有効に働きつゝある所の「善人」であるがそれ以上別に大した人物ではないといふやうに相場を決めて了ひます。

他の哲學的に教育された人々は彼等の判斷の目安となるべき或る一定の哲學系統を持つて居ります、而して若しフレーベルの理論がその系統に順應してゐないときは拒斥せらるゝの他はありません。

フレーベルは斯る辯論に於て何の理解をも得ず而して一方それがために些の權威をも有してゐないといふことを知るやうな場合にはよく六ヶ敷氣にその眉を蹙めました。

相互理解に到達するための障礙となつたものは多くの場合フレーベルが彼の出發點を具象界の事物即ち客觀的にされた思想及びその内に現されてゐる神慮の法則から發して居るのに彼の反對者等

は彼等自身の自我若くは彼等の主觀的な内的經驗以外に他の出發點を承認しないことでありました。而してこれは斯くあるより外に仕方がなかつたのであります、何故ならば在來の問題の解釋——物質界若くは意識を有せざる自然と精神界若くは人類の意識ある心との結合——のために新智識を求めんとする努力は新しき道（新問題はこの新しき道に於て現れました）を開きつゝあつたからであります、これは地上に住む人類の心に與へらるゝ智識の範圍内を以てしては完全な解釋を得るまでには一世紀を要するのであります。

現象界には絶對的の反對がなくたゞ相對的の反對のみが存在し、絶對的なものはたゞ原理としてのみ存在するが故に——發達の過程の中に於ける「反對の結合」といふフレーベルの思想は殆んど常に誤解せらるゝのであります、殊に二元的世界觀を唯一の正しきものと考へてゐる人々にはよく誤解せらるゝのであります、是等の人々は概ねフレ

レーベルの理論をその出發點に就て仔細に究めもせず拒斥して了ひます、彼等は容易にフリーベルは二元論の眞理を拒みはしないがそれは眞理の一部分としてのみ認識するのであつて全き眞理としては認識してゐないといふことを知るのであります。フリーベルは寧ろ全き眞理を二元論の繰返されたる解決の中に見出すものであつて有限の事物や關係及びそれらの發達の中には決してこれを見出さないのであります。

若し是等の拒否者中の數氏がフレイベルの方法の練習に盡力したならばフレイベルの思想は今一段の理解を得たでせう、フレイベルの思想の時代思潮と悉く一致して居ることも認められたでせう、而してフレイベルの思想は今將さに形造られつゝある於高級なる世界觀のために人々を準備せしむる方法の一として歓迎せられたであります、しかし事實高等な教育を受けた人々に兒童の遊戲に傾投せよと望むことは如何に大なる要求で

ありませう。

若し夫れ是等の懷疑者達がフレイベルの書いたもの——それらは確かに斷片でもあり哲學的の警句でもあり教育學でもあります——を見ることになりますとそれは是等の偏頗な發達をした人々に取つて甚だ感心出來ないものとなるのであります、而して「何も系統が立つてゐない」「この渾一の理論なるものは哲學上の見地からは主張し難いものだ」「文體は讀むに堪えない」「原理は既にベスタロツチの唱へたものさ」「方法は大きい兒童や學校には及んでゐない」「何處か善い所がある、一寸變つた所もある、しかし混亂して居る、而して大體了解し難いものだ」云々といふやうないろいろなことを言はれたのであります。

僅かに數名の人々が不完全な表現法、非系統的なること、及び全然直覺の力の下に於てのみ生命のあるべき單なる警句的見解をも意とせず、に彼の思想の深奥の意義を探らんと努めました、是等の

少數の人々は時々彼等の根柢に横つて居る眞理によつて捉へられました、それ故に彼等は自ら欲しても欲しなくてもそれに従はねばなりませんでした。けれども多くの人々に取つては興味は一時的のものでありました、それは直きに何か他の卑近な思想問題によつて抹殺されて了ふのでありません。

その結果として個人の側に於て、否當局者の側に於て認識されて居るにも係らず主張の全部と眞意義とは依然知られませんでした、而してその弘布は殆んどたゞ幼稚園に於ける練習——主に理解されずに——を通してのみ擴つて行つたのであります。

私はヒークとマリエンタルへ連立つて行きませんでしたので彼がフレーベルに會つて後私が彼に會つたのはその次ぎの日でありました、私の豫想通り二人は全然異つた基礎に立つてゐますのでお互ひに極く少しか理解し合はなかつたのでありま

す、ヒークは心ある誰でもが感ずるやうにフレーベルが人類の福祉のために貢献し犠牲になることを喜ぶことに感動しましたけれども少しく失望を感じて居りました。

「フレーベルはベスタロッチの愛と偉大なる説服力とを備へて居ります」とヒークは言ひました、彼は又學校以前に而して學校のために兒童の天性に快適な準備を與へることの利益をも承認しました、けれども個人的自覺の起り來る以前兒童の極く初期の教育的生活の間に與へらるゝ整然たる教育的感化に大なる意義のあるといふことを彼は認めることは出来ませんでした、これは彼には殆んど空想とも見えたのであります、彼に取つては學校が教育に於ける主なる要素でありました、而して彼の意見によると彼の特に興味を感じて居る國語や審美的教養は學校に於ける教育によつてのみ得らるゝものであるといふのです。

私は言ひました、「けれども言語によつて與へら



る、以外に他の教育がありません、練習、活動といふやうなものは自己修養に俟つものでありまして學校では充分に與へることは出来ません、如何に音樂の理論に通曉してゐても實際的練習が缺けてゐては樂器を奏することは出来ません、それですから言語を以て學ばれた道德、書物から得られた道德が如何に深かくともそれは道德的生活、道德的活動力の助けにはなりません、智識と好意とだけでは水中に溺れかゝつた仲間を助け上げるに充分ではありません、泳ぎ方を知らねばなりません、此の點に教會と學校との不備は存するのであります」

ヒークは言ひました、「私はこの方面に於て何事かいなされねばならぬといふことには異議ありません、而して私はフレーベルは學校の教師と生徒との仕事を簡單にすること、身體の運動と實行の力を養成するために仕事の時間を或る程度まで短縮するこ等との今將さに着手せられんとする仕

事の手傳ひをすべく丁度いゝ時に出て來た人であると思ひます、これは殊に人民の學校に就て然りであります、フレーベルの學校園シュールバゲルンは非常に有効なものであり得ます——若しフレーベルがそのために必要な位置を大都市に於て私達に拵へてくれるならば、彼は笑ひながら附加へました。

「彼の説はこの不備に於て先づ蹉躓するでせう、學校組織を全然根柢から變へて了ふやうなこの大變化は非常な困難を含んで居て當其の多くの年月の間の努力を要するであります、尙又擬古的な學校や高等學來は此種の改革に極く少ししか與ることが出来ません」

私は答へました、「土地の問題に關してなら都市近傍の原野は耕作のために青年學生の手によつて容易に得られませう、斯くして一面に於ては勞働が省かれ他の一面に於ては青年の力が増加するでせう、而して社會的經濟は眞の利益を得るであります」

その頃——二十五年許以前——は斯る方法で幼稚園を學校園へ近づけやうといふやうな考は殆んど空想とも見られました、而して青年學生のために教場、畫室、運動場、大仕掛の旅行等を齎すといふことも亦空想たるに止つてゐたのであります。

今日では塊地利政府はあらゆる方法を盡してグイエナの教授エー、シユワツプ博士の努力を援助して居ります、而して一八七二年以來文部大臣は事情の許すかぎり各學校に幼稚園を併設せしむべき旨を視學官に諭し小學校教師にフレーベルの方法を義務的に知らしめました、而して又フレーベルの方法を神學校に於ける教育の一分科とすべく命じました。

最近二年間に多くの學校園がオーストリアン・シレシア、ローワ・オーストリア、モラヴィヤ、チロル等の各地に設立されました。セント・ペールテン及びグイエナの近傍なるノイシュタッドにも大きな學校園が作られました、其他尙ブルイエ

ン、ライバツハ、クレムス等の各地にも出来ました、それから又政治團體の立案權の下に多くの村にも設けられました。グイエナに於ける農業協會、通商組合及びその他の團體は偉大なるエネルギーを以て不退轉の努力を續けるシユワツプ博士の着手せられた仕事に常に變りなく援助を與へて居りました。

農業大臣も亦土地を委託することによつて援助を與へてくれました、而して國中いづれの所からでも(ブコウイーナに至るまで)材料となるものを自由に取寄せるからお望みなさいと申出てくれました、學校の教場(此所に於て第一の實驗は爲されたのであります)の基礎のためにシヲワツプの爲した努力は同様な同情に逢ひました。

これには尙クフスタインやチロルに於けるデカンスやフェールファルテル博士の活動をも加ふべきであります、この人達は幼稚園及び幼稚園保姆のための學校の外にその土地の學校生徒のために學校園を作つてやりましたし今では現に賞讃すべき熱心を以てあらゆる方法によりこの主義のため勤めて居ります。



編 參 第

長會究研藝技子女  
生先彬山梶

述著大の心苦が

編 貳 第      編 壹 第

# 非常な御評判の

## 「高等女藝叢書」 第三編が出ました!

全國四十餘の高等女學校の教科書同様、御使用に獨修者が出ました!  
は本書に三つの特色があるから、それは梶山先生が三十年の實地研究に基き、澤山に入れて、  
秘傳や急所を惜し氣も無く説明されたのと、難解の個所へは、一々詳密な挿畫お澤山に入れて、  
あるのと、説き方が誠に解り易くて心得のある人にも心得の無い人も容易に會得する、等の三要  
件が具備して居るから、女藝に興味を持つて居らるゝ方には再び得難い指南車です。

高等女藝 編物極意

高等女藝 刺繡極意

高等女藝 物極意

新 版

挿畫百餘冊入  
大判全綴一冊本  
大判全綴一冊本  
金四十錢

送料八錢

忽ち三版

挿畫七十餘個入  
大和綴大判美本  
金四十錢

送料八錢

忽ち四版

挿畫百二十餘入  
大和綴大判美本  
金四十錢

送料八錢

東京市橋區川町 榮文館 全圖名著書林 發兌